

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	消防協力者等表彰事業	所管	消防本部 総務課
			TEL 2929-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	消防協力者等の功労に対して感謝の意を表すため表彰する。それを通じて、市民の火災予防等に対する認識と円滑な協力援助関係を確立するとともに、消防職員又は消防団員の士気の高揚を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民(消防職員、消防団員を含む)	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	37	人

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害現場や救急現場において、人命の救助、被害の軽減等に努めた市民等を把握する。 ・ 優良消防職員について所属より推薦を行う。 ・ 所属において表彰上申書を作成し、表彰審査委員会への上申を行う。 ・ 消防本部次長を委員長とし、他4名の課長職で構成された表彰審査委員会において表彰区分等を審議する。 ・ 火災予防週間等において表彰状・記念品を贈呈し被表彰者の功労を称える。 													
		活動実績	項目名	消防長(署長)表彰受賞者	22	単位	人	項目名	消防長(署長)表彰受賞団体数	3	単位	団体	項目名	消防長(署長)表彰受賞職員	12

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	125	116	2,746	8.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	表彰件数	表彰件数	37	37	
	単位	件	単位	件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり 増額 * 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100100	TEL	2929-9120
事業コード	消防協力者等表彰事業					
100106						
開始年度		昭和 30 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令		
	分野別計画・指針	なし			所沢市消防表彰規程		
	関連・類似事業	なし					
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	1節 市民との協働	中柱	小柱
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 12 位				・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***
事業開始の背景	昭和30年9月17日 所沢市消防本部・消防署の開設に伴い、火災の早期発見・通報、初期消火、防火水そう設置場所の敷地提供者等、いわゆる消防協力者に対し表彰状・感謝状を贈呈した。						

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)						
	消防協力者等の功労に対して感謝の意を表すため表彰する。それを通じて、市民の火災予防等に対する認識と円滑な協力援助関係を確立するとともに、消防職員又は消防団員の士気の高揚を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	市民(消防職員、消防団員を含む)						
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 18 年度	42
		平成 19 年度	339,058	人	平成 19 年度	37	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害現場や救急現場において、人命の救助、被害の軽減等に努めた市民等を把握する。 ・ 優良消防職員について所属より推薦を行う。 ・ 所属において表彰上申書を作成し、表彰審査委員会への上申を行う。 ・ 消防本部次長を委員長とし、他4名の課長職で構成された表彰審査委員会において表彰区分等を審議する。 ・ 火災予防週間等において表彰状・記念品を贈呈し被表彰者の功労を称える。 							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
平成18年度事務事業二次評価を受けて、記念品等を縮小し予算の削減を図った。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		134	125	100
	決算 (見込み含む)		132	116	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.24 人 2,208	0.28 人 2,630	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		2,340	2,746	
	財源内訳	一般財源	2,340	2,746	100
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		6.9	8.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)		55,714.3	74,224.9	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	消防長(署長)表彰受賞者	表彰受賞者数	人	24	22		
		消防長(署長)表彰受賞団体数	表彰受賞団体数	団体	3	3		
		消防長(署長)表彰受賞職員	表彰受賞職員数	人	15	12		
	成果分析	表彰件数	表彰件数	件	目標値			
%				実績	42	37	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		消防本部	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	一昨年から、表彰事務の迅速化を推進するため、人命救助等の特筆すべき勇気ある功労に対しては、トップダウン方式により、審査を行い、表彰を実施したことにより、時を移さず、感謝の意を表すことを可能としたもので、今後も引き続き迅速化の推進と事務の改善に努める。				
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
平成20年度における目標設定	表彰事務の迅速化の推進	特筆すべき功労(直ちに表彰すべき功労)を除き、すべてを1ヵ月以内に表彰する。	年度末		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
消火活動、救命活動等に協力した市民の勇気ある功労に対して感謝の意を表することは、本人の功労だけでなく、広く市民に「近隣互助」の考えや、応急処置の必要性、さらに勇気ある行動の重要性を市民にPRできる機会であることから、限られた予算内で効率的な表彰事務を今後も推進する。					
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	総務課長 江口 庸介		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	施策の体系	施策の方向						
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	基本目標							
主要課題								
施策の方向								